

# 令和3(2021)年度 東京大学大学院学際情報学府 夏季募集 入試方法変更のお知らせ

令和2年6月5日 東京大学大学院学際情報学府

令和2年6月8日 I. 全コース共通部分(2) 出願期間の曜日を一部訂正  
令和2年6月8日 I. 全コース共通部分(4) 一次選考・外国語(英語)  
の英検の内容を一部追記

新型コロナウイルスによる影響を配慮し、夏季入試の実施方法を以下の通り変更する。  
なお、以下の記述は昨年度からの変更点を中心に概略を記したものであり、詳細は今後公表される募集要項・入学試験案内を参照すること。

## 1. 全コース共通部分

(1) 提出書類、出願方法：

募集要項に記載されている提出書類のうち、新たに追加されるもの、記載内容が例年と異なるものがあるので、本文書の「コースごとの入試方法」を参照の上準備すること。提出書類は、例年どおりの原本の郵送に加え、推薦書を除いた出願書類一式を一つのPDFファイルにまとめ、指定のサイトよりアップロードすること（アップロード方法の詳細はウェブページに掲載する）。推薦者には、推薦書のアップロードを別途依頼すること。

(2) 出願期間：受付期間 7月7日(火)～7月15日(水)

出願書類のアップロードは、7月15日(水) 23:59（日本標準時間）までにアップロードが完了したものに限り有効とする。郵送物については、7月16日(木)以降に到着したものは、7月15日(水)までの消印のあるものに限り有効とする。

(3) 一次選考・筆記試験（専門科目）：

一次選考のうち、筆記試験（専門科目）は実施しない。一次選考の合格判定は、提出書類並びに外国語（英語）の成績証明書類（次項）に基づいて行う。二次選考（口述試験）で、入試案内の筆記試験（専門科目）にて示されている科目について口述審査を行う場合がある。

(4) 一次選考・外国語（英語）：

募集要項通り、本学府入学試験の2年前(2018年)9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものの公式スコアシートの提出を原則とする。TOEFL iBT Special Home Edition, Computer Delivered IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアも受け付ける。以上の試験のスコアが提出できない場合は、「**実用英語技能検定(英検、英検 CBT)の合格証明書および英検 CSE スコア証明書**」も受け付ける。いずれの試験も受験できず、上記のいずれのスコアも提出できない場合は、理由書(外国語(英語)成績未提出理由書→Ⅲ参照)を出願書類に含めること。この場合は、二次選考(口述試験)の一部を英語で実施することで英語能力を判定する場合がある。

募集要項 B. で記載されている8月4日(火)に東京大学本郷キャンパスで実施予定だった TOEFL-ITP は、実施しない。

(5) 二次選考(口述試験)：

一次選考合格者を対象に、オンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ(ノートパソコン等)が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。

二次選考(口述試験)は8月20日(木)～8月23日(日)のいずれか一日を指定して行う。

## II. 各コースごとの昨年度からの変更点の概要

### (1) 社会情報学コース

- ・指導教員希望調査書の変更：第一希望指導教員を選択した理由を300字程度で記述する。
- ・研究計画書の変更：4,000字程度で詳細に記述する。
- ・小論文の追加：今後公開される社会情報学コースの入学試験案内に記載される課題に対する解答を4,000字程度で記述する。

### (2) 文化・人間情報学コース

- ・例年の提出書類に「研究成果物」を加える。  
必須：応募者の研究能力を評価できる、研究計画に対応した学術的な論文。A4用紙10枚以上を目安とする。  
追加：作品を収録したポートフォリオなど。  
論文誌・プロシーディングス等の刊行済みの業績以外については、指導教員・勤務先の上司などによる、客観的な評価を推薦書に含めるよう、推薦者に依頼すること。
- ・口述試験の時間を全体で30分とする。

### (3) 先端表現情報学コース

- ・研究計画書は、昨年までの書式（4ページ以内）と同様ものを課すが、追加の書類は課さない。
- ・今年から、特別選考枠としてポートフォリオ入試を実施する。特別選考枠に応募する受験生には、一般選考枠に課される提出物に加えて、別途追加の提出物が課される。提出物の詳細は入学試験案内と募集要項を参照のこと（ポートフォリオ入試は、あらかじめ今年度から予定されていたもので、コロナ対応策としての特例施行ではない）。
- ・特別選考枠のポートフォリオ入試の考え方や実施方法については、6月6日の16時から開催される先端表現情報学コースの入試説明会において詳細を説明する。

### (4) 総合分析情報学コース

- ・研究計画書として、下記の項目についてA4用紙4~5枚程度で記載する。
  - 1.研究題目
  - 2.キーワード（3~5単語程度）
  - 3.研究要旨（200字程度）
  - 4.研究の背景（研究の着想に至った経緯について、社会背景や既存研究等を具体的に挙げながら述べる）
  - 5.研究の目的（研究の背景を踏まえ、達成しようとする目的を述べる）
  - 6.研究計画（在学期間中に達成しようとする研究について、具体的な計画を述べる）
  - 7.研究の獨創性（特に獨創的と思われる点について述べる）
  - 8.総合分析情報学コースへの貢献

### (5) 生物統計情報学コース

1. 提出書類について  
例年の提出書類に加え、小論文の提出を課す。小論文の分量はA4判2頁程度を予定。研究計画書については例年通り。
2. 口述試験について  
時間は全体で30分を予定。  
英語スコアの提出の有無にかかわらず、口述試験は日本語で行う。
3. 特別選抜枠について  
今年から特別選抜枠を設ける。詳細は募集要項を参照すること。

### Ⅲ. 外国語（英語）成績未提出理由書

入試案内に記載されている英語スコア（TOEFL-PBT または TOEFL-iBT の公式スコアシート、TOEFL (<https://www.cieej.or.jp/toefl/>)、TOEIC の公式認定証、IELTS 公式成績証明諸書、実用英語技能検定（英検、英検 CBT）の合格証明書および英検 CSE スコア証明書）のいずれも提出できない場合は、その理由と、出願者の英語能力を示す情報（海外留学経験、国際学会論文発表、2018年8月31日以前の英語スコア[可能な限りスコアを証明する書類を添付]、等）を記載すること：